事務事業名	災害見舞金等支給事業										
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸						

	于初于木叶	N 文																
(1)	事業開始年度	昭和44年度		改正 ウェー 支給対象の変更														
(2)	直近の改正	平成23年度		Ŀ	内容	义作	対象の変更											
(3)	根拠法令等	災害弔慰金0	D支給等	に関する	る法律、	、吹	田市災害弔愿	対金の支	給等	手に関	する条例、	、吹田市災	害見舞金	等支給要	綱			
		☑ 全部		一部(_	上乗せ	、横	出し等あり)			なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施	する義務を	あり)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	その説明	明														
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健身	で安心	して暮	らせ	- :るまちづくり				節		5		細節		0	
					区分	分	□ 内部管理			<u></u> 建設	 事業	☑ その	 他			<u> </u>		
	目 的	対象 (誰を、何を) 範囲																
(6)		目標 (どういう状態にしたいのか) 災害																
		結果 (どのような効果が得られるのか) 被災					背等の福祉及び生活の安定を図ります。 											
(7)		市内に居住す (全焼、死亡の また、市内に、 死亡した者の	の場合)、 居住する	. または る者で災	3万円 害又は	(半) は入り	焼、半壊、床 ₋ 完期間90日以	上浸水、 以上の傷	入院 湯害を	親間 受け	90日以上 、その直接	この傷害の	場合)を支	給します	0			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	3	項	4		3	1	大事業	1	中事業	1	小事	業	1
			項[平成2 (2014						7年度 5年度)			成28年 016年度			
					予算(千	円)		決算(千円)	予算(千円)	決算見	込(千円)	予:	算(千円	9)		
				1,33					380		1,332		6	0		1,332		
		人件費 人件費	大件費 職員数 制		人		0.26				0.20		0.20		0.2	0		0.20
				(B)	千日	円	2,158				1,590		1,671	1,671		1		
	士		事業費(3,490				1,970			1,731		_	2,966	
(9)	事業費と 財源の内訳	· · · · · · · · ·	特定財源				0				0			0		<u> </u>		
		 		国 ——— 苻			0				0					0		0
		訳		<u></u> の他			0				0						1	
			<u>`</u> 市負担					3,490								1		
		$\widehat{}$	地力	方債				0	_		0				0			
		内	その	の他				0			0		0			0		0
		<u> </u>	一般	財源				3,490			1,969		3,003		1,73	1		2,966
			才源計(C)+D)				3,490			1,969		3,003		1,73	1		2,966
		☑ 直接	美美施															
							委託先	① ②										
		□ 委託	□ 委託又は一部委託					3										
(実施方法				-	È	 な委託内容											
(10)	(談ヨ9るもの							1										
	は全部チェック)	口 補助]金•負担	金			交付先	2										
								3										
		□ その	他			内容												

事業番号 00349

2 計位)指標	指標項目	1		項目		戊26年度 14年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			災害見舞金の支	給件数	目標値	(単位:件)		8.00	8.00	2.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		8.00	2.00	
	1	. , ,				達成度(%)		100.0	25.0	
		目標値		値を目標値とします。	単位当た	総事業費(単位:千	円)	246.50	865.50	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	246.50	865.50	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千	円)	0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	0.00	0.00	
			なし		目標値	(単位:なし)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:なし)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
\sim		目標値	なし		単位当た	総事業費(単位:千	円)	0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	0.00	0.00	
成果指標			なし		目標値	(単位:なし)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:なし)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算	なし		単位当た	総事業費(単位:千	円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	0.00	0.00	
(3) が困難標	1	活動内容	油巛字竿の 仕洋	を支援することにより、	短池の抽准 レイト	- 汗の宍宍太図() まま	目標	明 令於什	のため、一定の効果	ルセストネラネオ
な場合	2	成果 内容	放火省等の主治	と又1友りのことにより、	1曲位 V が自 延 C ユ	これの文定を囚りより	。 達成 状況		がた。た の別未	14 <i>め</i> のCカんより。
			ー 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		宿小	J	廃止 □ :	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	被災者等に見舞金措置として有効であ			金給付する	 ことは、災害	 	る被災者の救済

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	00349	事業 名	災害見舞金等支給事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> </u>	100 DE NIC	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
		14	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iiX
			している。 している している している している している。 している。	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	<i></i>
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	<u></u>
				5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第三でする (5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(==71117		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	0	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東業手法の検討や東務改善に取り組んでいる(2-5)	0	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	•	<u> </u>
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20/1117)		③適正な受益者負担を求めていますか。	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :	_
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 A+ 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	, :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生活福祉室	事務事業番号	00349									
2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)												
李田 动动里	!について数値指標等で表すこ	-がでませんが 巛宝	2時の市民生活を採助。	する福祉施策として継続する必要があります。								
貝川 刈冽木	にこりいて数に旧宗寺で改りこと		一時の川以土石で1次の	9 句間性心水にして心が9 句が安かのうより。								

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 分平性 対率性	
(3)現状分析	災害等にあった市民に見舞金を支給 えます。また、他市の見舞金の基準を	することは被災者本人の生活の安定をB を見ても吹田市が突出しているものではな	図る等、一定の効果があると考 なく、妥当と考えます。

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業											
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸							

<u> </u>	于初于未VM	$\chi \overline{\mathbf{y}}$																	
(1)	事業開始年度	平成20年度			正	配偶者支援金制度の創設、根拠法令の名称変更													
(2)	直近の改正	平成26年度	,	八]容				- Д ј ц.		<i></i>	12 42 12 17							
(3)	根拠法令等	中国残留邦。	人等の円	滑な帰国	の促迫	進並び	バに永住	帰国し	た中	·国残 ^l	留邦	人等及び	特定配偶都	香の自立(の支援に関	する法			
		口 全部		一部(上	(上乗せ、横出し等あり) □					☑ †	☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合はそ	の説明	月													
(5)	総合計画の体系	章(3 健康	東で安心し	て春	らせる	るまちづくり					節		5		細節	10)	
							分 □ 内部管理			□ <u>3</u>	建設	事業	☑ その	也			:		
<i>(</i> - <i>)</i>		対象 (誰を、何を)	範囲	国等 本邦に永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者															
(6)	目的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	永住	住後の生活の安定を図ります。													
		結果 (どのような効!	果が得られ	こころのか)	安定	した生	生生活と社会参加を促進します。												
(7)	事業概要	な問題を解消し、中国残留邦人の日本						におけ	けるき	め細た	かいろ	支援を行り	が話せない います。各種	・等による 重支援をi	日常生活 通して日本	の問題にでに永住す	ついては、中 ることで生じ	国語が る多様	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3		項	1		目		1	大事業	11	中事業	1	小事業	1	
							6年度 年度)					?7年度 5年度)		平成28 (2016 ²					
				予算(千円)		決	:算(-	千円)	予算(千円)	決算見込(千円)		予算(-	予算(千円)				
			事業費	(A)	_			64,	,041			48,448		62,036		60,37	1	59,306	
		人件費	職	職員数人		•	0.06		0.06			0.06		0.06	5	0.06			
				頁(B)	千円	千円			498			477	502		502		+		
	 ** # 1		事業費(-	,539		48,925			62,538 60,873					
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源			48,214					36,588	<u> </u>		 			44,934		
		内		国 ——— 苻		48,214			,214	36,588				46,165		42,555		44,934	
		訳		<u>'''</u> の他			0			0			0		0			0	
			市負担					16,	,325	12,337			16,373				3	14,863	
		\sim	地,	 方債					0				0		_			0	
		内	そ(の他					0			0		0		(D	0	
		·	一般	剝期源				16,	,325			12,337		16,373		18,318	3	14,863	
		貝	財源計(℃	C+D)				64,	,539			48,925		62,538		60,873	3	59,797	
		☑ 直接	と 実施																
		□ 委託又は一部委託					委託先 ① ② ③												
	実施方法				-	主な			<u> </u>										
(10)	(該ヨ9るもの						主な委託内容												
1	1	□ 補助金・負担金						\cup											
	は全部チェック)	□ 補助	カ金∙負担	金金		;	交付先	<u> </u>	2										
	は全部チェック)	□ 補助	カ金∙負担	金金		;	交付先												

事業番号 01079

)指標等	指標項目	■		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			支援世帯数		目標値	(単	位:世帯)		17.00	17.00	17.00		
		指標 内容					位:世帯)		17.00	17.00			
	1					達成度(%)			100.0				
		目標値	目標値は平成27	7年度実績値とします。	単位当た	総事業費(単位:千円)			3,094.94	3,580.76			
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			709.59	1,077.53			
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値			単位当た	総事業費	覧(単位:千円)		0.00	0.00			
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
	指標 おおおお おおお おおお おおま おおま おおま おおま おおま おおま お				実績値	直 (単位:)			0.00	0.00			
	1					達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	党(単位:千円)		0.00	0.00			
2 		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00 0.00				
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度	(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た			0.00		0.00			
		方法			りコスト				0.00	0.00			
へ の3 が 困指	1	活動 内容						目標					
難な場合	2	成果 内容	本市が中国残留ます。	邦人として把握している要	要支援世帯に	ついて生活	舌の安定を図り	達成 状況					
	•		- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	\		廃止 □	終期の設定		
(4)総·	(4)総合評価		評価の説明	基準に沿って支援給 今後については、要3	D生活安定を図ることを目的とした本事業は国の法定受託事務であり、定付費を支給することで目的をほぼ達成していると考えます。 支援世帯の高齢化が進んでおり、各種支援給付による経済的支援以外に生活における細かい問題の解消をすることにより更なる生活の安定を図る						外に世帯ごとの		

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01079	事業名	中国残留邦人生活支援事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 1001111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	
	— .i. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			0. 失 旭忠義は 7 0.0 0. (0.	<u> </u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		, AN
			ウ/ロ・助 16 15 17 20 16 15 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
		可効性 20点)	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			4 市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	
				5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。	J	
			・	5	 点
			a. 早世当たりコストは過止である。(3M/) ②迅速なサービスの提供に努めていますか。	J	
			と)	3	 点
(3)	効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	3	
			○ 他の事業・取組と0連携は検討していない。(1点)	1	 点
			①	•	
			中来子広の検討、事務以告に取り組むなど、事未効率の向上にあめているすが。 	5	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	3	<i>m</i>
				3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。	3	
	— 13			5	 点
(4)	公平性 (20点)	18		J	
	, ,,,,,		③適正な受益者負担を求めていますか。 	5	
			a. 過止な受益有負担を求めている。又は受益有負担を必要としない埋出・根拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。	J	点
			せん	F.	
			1事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	5	点
			①	F	<u> </u>
			a. 事業員や前員程はほどんと増加していない。(3点) ②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	J	点
	持続可			F	<u> </u>
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	J	点
	(20点)			F	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点) ② 図 事 的に 見て、 現在の事業のおしまで、 期待する事業効果を得ることができますか	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	F	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生活福祉室	事務事業番号	01079
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は国の法定受託事務であり、行政の役割、妥当性、有効性、公平性、持続可能性については適正に実施しています。 事業の効率化については、生活支援員の活用による日常生活で生じる多様な問題を迅速に解決し、世帯ごとの諸問題を把握し支援の充実を 図ります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	各種支援給付による経済的支援以外することにより更なる生活の安定を図	トに世帯ごとのニーズを把握し日常生活に ることが必要と考えます。	こおける細かい問題の解消を

4 その他(国, 佐の動向など 当該車業に関係する特司車項)

事務事業名			児童養護施設中学校卒業激励事業		
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸

	中加中未以	1女															
(1)	事業開始年度	昭和40年度			改正	마 ㅁ	1 士 注 州 控 目	# 弗士	公西	郷た良」		美羅佐記古	学坛太学	·油品会弗	士公西绍:	た判中	
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	Ŋц	コリルムクト1反。	设具人	帕女	神で 洗ュ	上し、近里?	皮设心改计	于似千未	:	义和女职	生的化。	
(3)	根拠法令等	児童養護施記	设中学校	交卒業激	加会費	支約	合要領										
		☑ 全部		一部(上乗せ	せ、横出し等あり) 口 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							り)				
(4)	市単独事業区分		ックした	場合は	その説明	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健児	康で安心	ひして暮	らせ	<u>.</u> さまちづく「	IJ			節		5		細節	0	
				区分	分	□ 内部管	 管理		——— □ 建設	*事業	☑ その⁴	也			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	国等 市内児童養護施設に在籍する中学校卒業児童											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)		市内児童養護施設に在籍する中学校卒業児童を対象に、次世代を担う子どもたちに自立した社会生活を送れるようにと、応援の意味を込めて、激励行事を開催します。											
		 平成24年度 児童養護施設中学校中 一部にチェックしたり (と 合) (トス) (トス)	れるのか)	_			さちに喜	びと	:希望を	与えること	ができ、子と	ごもたちが					
(7)	事業概要	市内児童養記	蒦施設に	ニ在籍す	·る中学 [/]	校卒	≦業児童を対	対象に激	数励 1	行事を実	産施します。	,					
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	}	項	1		目	1	大事業	15	中事業	1	小事業 1	
			項目					戊26⁴ 14年	年度 : :度)						平成28年度 (2016年度)		
	7) 事業概要 (8) H27事業別 予算コード						予算(-	千円)		決算	(千円)	予算(-	千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)						47	70	0 375			470	380		440	
		│ │ 人件費 ├	職	員数	: 人		0.15		15			0.10			0.10	0.05	
			ļ		千	円	1,24			477							
	古光井上						1,71										
(9)									0	節 5 細節 0 □ 建設事業 □ その他 在籍する中学校卒業児童 中学校卒業児童を対象に、次世代を担う子どもたちに自立した社会生活で、激励行事を開催します。 □ 希望を与えることができ、子どもたちが自立した社会生活を送ることができ、子どもたちが自立した社会生活を送ることができます。 □ 1 大事業 15 中事業 1 小事業 1 □ 中東							
									0								
		訳							0								
			市負担	(D)				1,71	15		852		1,306		1,216	849	
			地	方債					0		0		0		0	0	
		M	そ	の他					0		0		0		0	O	
				设財源							849						
				C+D)				1,71	15		852		1,306		1,216	849	
			5美.他		T			1) ネ -	 + 全 福祉		B市社会福					
							委託先	2									
	実施方法	☑ 委託又は一部委託						3	-								
(10)						È	な委託内容	容激	励行	事の開	催						
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1	_								
	·ひエ HP/ エノノ/	□ 補助	助金∙負担	旦金			交付先	2									
								3	3)								
		□ その他					内容										

事業番号 01081

)指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
			参加児童数		目標値	(単	単位:人)		36.00	36.00	30.00	
		指標 内容			実績値	(単	单位:人)		17.00	18.00		
	1	.,,				達成度	(%)		47.2	50.0		
<u> </u>		目標値 の積算	児童養護施設卒業予定の中学生30人を見 込んでいます。		単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		68.82	67.56		
1		の積算 方法				一般財源	一般財源(単位:千円)		68.82	67.56		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
	指標		指標 内容		実績値 (単位:) 0.00			0.00				
	1					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
2 	の積算 方法				りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
の の が 困 指	1	活動 内容						目標				
盟難な場合	2	成果 内容	児童養護施設に入所している! みとしてもらいます。	見童を激励する	ることで、中	□学校卒業	後の進路の励	達成 状況	子ども達に	は喜ばれておりま	す。	
	1	4) 今後の方向性 (実施計画) □ 拡え	t	✓ 継続	Ē	□ 縮小			秦 止 □	終期の設定	
(4)総1	(4)総合評価		いて必要性	が高いと考	者となって同様の事業を実施している市はありませんが、低所得者の福 考えます。本事業の効果を数値指標で表すことはできませんが、近年の 事業を継続する意義は大きいと考えます。							

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01081	事業名	児童養護施設中学校卒業激励事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点			
ш та 	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	点	
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点	
(1)	妥当性 (20点)	12	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点	
			0. 失過急報はするのも。(0.kk)	3		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	<i>m</i>	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 で 1 〕	Q	 点	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F		
(2)	有効性 (20点)	14	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点	
	\ = - \\\\\\\			2		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点) 	3	点 	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	0	<u> </u>	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************	-	<u> </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点 	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
(3)	効率性 (20点)	12	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点	
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
			②サービスの水準は適正ですか。			
(4)	公平性 (20点)	16	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	 :		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	,: :		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
/	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	······································		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
	i点合計 点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	生活福祉室	事務事業番号 0108	81							
2 各視点	ない。 なからの評価の点数・	では表れない事項(必要に応し	こて記載)	_						
3 事務事	事業の現状分析									
	の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部	として重点的な取組	V	その他				
(2)各視点	(2)各視点からの評価結果 対象では、									
(3)現状分	対象児童からは大変喜ばれており、非常に良い心理的効果を与えていると思われます。 平成27年度の参加人数は、対象児童20名のうち18名でした。									
4 その他	也(国・府の動向など。	当該事業に関係する特記事	項)							
	¬ √ 111 44 ¬√11.1.Q. C. ✓									

尹未留万 01002

事務事業名	戦没者等追悼式実施事業												
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸								

<u> </u>	丁 勿于未以他	ル 文													
(1)	事業開始年度	昭和32年度		改		Ι.									
(2)	直近の改正	なし		内	容 な										
(3)	根拠法令等	なし													
		☑ 全部		一部(上	乗せ、柞	黄出し等あり)		ロな	し(国・府制	削度もしくはえ	去令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした均	易合はその	の説明										
(5)	総合計画の体系	章	强 健康	で安心し	て暮ら	せるまちづく	J	節		5			細節	0	
		:	<u> </u>		区分	□ 内部管	管理	□ 建	設事業	☑ その作	也			<u>.</u>	
	目的	対象 (誰を、何を)			範囲等		爆死没有	」	ならびに戦争	争犠牲者の	 遺族				
(6)		目標(どういう状態に	こしたいのフ		_	ー 、戦での戦没者、原爆死没者ならびに戦争犠牲者に対し追悼の誠を捧げ、恒久平和の誓いをこめて追 ・開催します。									
		結果 (どのような効!	早が得られ	るのか)	改めて	て戦争の悲惨さと平和の尊さを実感する機会となっています。									
(7)		先の大戦で <i>0</i>	先の大戦での戦没者、原爆死没者ならびに戦争犠牲者に対し追悼の誠を捧げ、恒久平和の誓いをこめて追悼式を開催します。												
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	2	大事業	2	中事業	1	小事業	1
			項目					26年度 1年度)				27年度 5年度)		平成28 (2016 <i>年</i>	
						予算(-	千円)	決算	拿(千円)	予算(-	千円)	決算見辺	以(千円)	予算(-	千円)
			事業費	(A)			876		871		874		872		874
		人件費	職員	職員数		0.2			0.20)	0.20		0.20		0.20
			総額(B)		千円	1,74						 			
	市光		事業費(/				2,619		2,461		2,545	+			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源			0			0	1	0	+	0		
		内	<u></u>	^当 ———— 守					0	0			0		
		訳		<u>.</u> D他			0				0	+	0		
			市負担(2,619		2,460						2,508
			 地ブ	 方債			0		O		0		0		C
		内 訳 	その	D他			0		0		0		0		C
		· ·	一般	財源			2,619		2,460)	2,545		2,543		2,508
		貝	才源計(C	(D)			2,619		2,460		2,545		2,543		2,508
		□直接	実施					T							
							1	(株)つ	ねみ						
		☑ 委訊	三又は一部	部委託		委託先	2								
	実施方法				_	ナ れそぎ 中原	3		ᇎᄼᄼᄼ	5 - 1 1 1 1	┡ ┎ ╌┰╩	7 <i>k</i> z			
(10)	(該当するもの					主な委託内容		【有•原爆 ┃	暴死没者追悼	P	X安託業	防			
	は全部チェック)	┃ ┃]金•負担	小		 /14-	1								
		▮ □1件用以			交付先		(1)								
				<u> </u>		父付先	2								
				<u>. w</u>			3								

<u> </u>	<u>ш</u> ••	<u>/]日1示 </u>	指標項目	■		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			式典出席者数		目標値	(単	益位:人)		300.00	300.00	300.00
		指標 内容			実績値	(単	望位:人)		287.00	312.00	
	1					達成度	(%)		95.7	104.0	
<u> </u>		目標値 の積算	出席者300名(名 200名)	(各種団体来賓100名 一般	単位当た	総事業費	(単位:千円)	8.57		8.15	5
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		8.57	8.15	
活動指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(.	(単位:)		0.00	0.00) /
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(,	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値 (単位:)			0.00	0.00		
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2)成果指標		方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た			0.00		0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
のが困難な場合(3)指標で示す	1 2	活内 成内	追悼式に関してに る契機となってい	は、厳粛に開催しています。ī ○ます。	市民に対し	ては平和I	こついて考え	目標 達成 状況		の対象者は高齢化 n者があります。	していますが、毎年
			 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	11—10		□ 縮小				終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	先の大戦での戦没者、 悼式を開催することは、 す。							

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01082	事業名	戦没者等追悼式実施事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点							
<u> птр</u>	100 DE NIC	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。							
			・	5	 点					
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>						
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点					
(1)	妥当性 (20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>						
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点					
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。							
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点					
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点					
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>						
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点					
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>						
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点					
			4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J						
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点					
			1単位当たりコストは適正ですか。	J	赤					
			・	5	 点					
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	J						
	11 -4-14			5	 点					
(3)	効率性 (20点)	14	3. 近途なり、これに戻めための取組を具体的に取り組んでいる。(3/) 3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	J						
			○ の事業・取組と建携して、事業の効準化を図っているすが。 	1	 点					
			① 個の事業・政権との建務は後的としいない。(1点) ②事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	•						
			中	3	 点					
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	3	<i>m</i>					
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)							
			②サービスの水準は適正ですか。	3	点					
	— 14			5	 点					
(4)	公平性 (20点)	18		J						
			③適正な受益者負担を求めていますか。 	5	<u></u>					
			a. 過止な受益有負担を求めている。又は受益有負担を必要としない理由・根拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。	J	点					
			4)公十日を曜休りるための収配のをしているりか。 	F.	 					
			1事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	5	点					
			①	F	<u> </u>					
			a. 事業負や前負担はほどんと増加していない。(5点) ②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	5	点					
	持続可			F	<u> </u>					
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) 	J	点					
	(20点)			F						
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点					
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	F						
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点 					
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))							

所属名	生活福祉室	事務事業番号	01082
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

戦没者遺族等の高齢化にともなう対象者の減少はあるものの、行政主体で本事業を実施する意義は大きいと思われます。 対象者が限られていることについて、単なる式典の開催だけでなく戦争経験のない市民に平和の尊さを発信していることから、吹田市全体とし て平和について考える契機となっています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析		者の減少等の問題はあるものの、単なる 「。今後とも市民に開催意義を発信し、時	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

毎年8月に政府主催、9月に大阪府主催の戦没者追悼式が行われています。

事務事業名	生活保護適正実施推進事業												
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸								

(1)	事業開始年度	平成22年度	成22年度			<u>د</u> بـــ	rmst to	<u></u>	/ + 155 +	- AIL 	<i>₩</i>	7 + 8 L 17 [T]	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	<i>*#</i>	= ** =			
(2)	直近の改正	平成27年度			改正 内容	生活 	5困窮者自	立相談	文援事	・美質	·等貝担金 <i>》</i>	なひ生活困	躬者就为	準備文援制	∔ 美賀寺補	期金に名	亦変更	
(3)	根拠法令等	生活保護法、	生活团	窮者自	立相談	支援	爭業費等負	負担金	要綱、生	主活	困窮者就労	準備支援事	業費等補	亅助金要綱				
		□ 全部	Ū	一部	(上乗せ	∵、横	出し等あり)		なし	∠ (国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す				
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	-場合は	けその説	明												
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健	康で安	心して暑	事らせ	L せるまちづく	IJ			節		5		細節	1()	
		:			区	分	□内部			建		☑ そのイ	 也			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	生活保護	受給者	· 及び生	活保	護申請者							
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	目標 (どういう状態にしたいのか) 望り				L 蒦受給者を · 。	支援す	る体制	を 構	 築し、自立る	と促進します	ナ。また、 <u>・</u>	生活保護受	給者の医	療扶助の過	 휯正化を	
		結果 (どのような効果	見が得ら	れるのヵ	、) 生活	舌保語	保護制度の適正化を図ります。											
(7)	事業概要	①面接相談員を配置し生活保護の相談についてきめ細かな対応をします。 ②就労支援専門員を配置し生活保護受給者の就労支援を行い自立を促進します。 ③子ども健全育成生活支援員を配置し子どもがいる生活保護世帯を支援します。 ④健康管理支援員を配置し、生活保護受給者に対して健康面について適切な助言、指導及び援助を行います。 ⑤生活保護受給者の医療扶助レセプトの内容点検を委託して行い医療費の適正化を図ります。																
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		3	項	3		目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1	
(0)	1 37 1			:		成26年 014年度		<u> </u>	:		 ?7年度 5年度)		平成28 (2016 <i>:</i>					
				千円)		決算	〔千円〕	予算(:	千円)	決算見記	└(千円)	予算(-	 千円)					
		事業費(A)							,988 28,017			33,038		29,445	24,09			
		人件費 一	ಾ	職員数 人		人	0.0		.65	0.95			0.65		0.65		0.84	
		7 11 20	総	額 (B)	千	·円	5,39		395		7,550		5,429		5,429	<u> </u>		
	- 			(A+B	3)		38,383				35,567		38,467			·		
(9)	事業費と 財源の内訳	:	特定財				32,641				27,702		21,389		21,733	<u> </u>		
		内 ——		国 —— 府			27,065				1,249 26,343		1,102 20,159		21,621			
		訳	7	M O他			5,449				110		128		112		0 91	
			市負担						742		7,865						12,789	
		\sim		 b方債				,	0		0	·					0	
		内 訳	7	の他					0		0						0	
			-	般財源				5,7	742		7,865	17,078			13,141		12,789	
			才源計((C+D)				38,3	383		35,567		38,467		34,874		30,954	
		□ 直接	実施															
	実施方法	☑ 委託	☑ 委託又は一部委託					委託先 (・イブレーン							
(10)	(該当するもの					E	とな委託内?		ノセプトル ・	京 検								
	は全部チェック)	┌┐╶┼╩╒╌	。	中心			六八十	_	1									
		□ 補助	」並・貝	担董			交付先	<u> </u>	2 3									
		□ その	他						<u> </u>									

		指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
				「関わる就労支援を受け 援カウンセラーによる就労	目標値	(単	単位:人)		140.00	177.00	162.00
		指標 内容		で 成26年度で終了)	実績値	(道	单位:人)		177.00	162.00	
	1	.,,,				達成度	(%)	126.4		91.5	
		目標値	前年度実績値を目	標値とします。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		200.93	215.27	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		18.32	81.12	
活動指標			レセプト点検の件類	数	目標値	(道	単位:件)	1	44,200.00	136,100.00	146,000.00
標		指標 内容					単位:件)	1	34,471.00	139,800.00	
	2					達成度	(%)		93.3	102.7	
		目標値	予算積算時の件数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.26	0.25		
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.02	0.09	
			就労を開始した人	「関わる就労支援を受け 員数(就労支援カウンセ	目標値	(肖	単位:人)		70.00	84.00	82.00
		指標 内容	ラーによる就労意 度で終了	欲喚起事業は平成26年	実績値	(当	単位:人)		84.00	82.00	
	1					達成度	(%)		120.0	97.6	
		目標値 の積算	前年度実績値を目 	標値とします。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		423.42	425.29	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		93.63	160.26	
成果指標			レセプト点検の過	誤調整額	目標値	(首	単位:円)	22,5	60,672.00	20,963,316.00	17,584,118.00
標		指標 内容			実績値	(単	単位:円)	20,9	63,316.00	17,584,118.00	
	2					達成度	(%)		92.9	83.9	
		目標値 の積算	平放2/年度美額 ⁽ 	平成27年度実績値を目標値とします。			総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
の3 が 困指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果 内容						達成 状況			
		4	う後の方向性 (実施計画)	□拡充	継続	Č	□ 縮小	•		秦 止 □	終期の設定
(4)総:	(4)総合評価		評価の説明	①面接相談員の配置に ②専門的知識を有する ことが可能になり、大豆 ③子ども健全育成支援 いる「貧困の連鎖」の 強健康管理支援員を配 者の適正受診を図れて 予定療扶助レセプト点格 化を図れています。	就労支援 一ワを配置 止に寄り にます。?	員を配置との連携を し子ともが していまでは は は は は は は は は は は は は は	することによ を強化している がいる生活保 す。 いて適切な助 がっており、タ	り、生活(ます。 護世帯を 言、指導 対象者が	呆護受給者 支援する。 及び援助 増加傾向(すへのきめ細かたことによって、近き を行うことによっ こあるため支援員	就労支援を行う 年社会問題化して て、生活保護受給 員1名を増員する

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01083	事業名	生活保護適正実施推進事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100 100/100	ит рилк	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	
	— la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。)MX
			している。 している している している している している。 している。	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	3事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	
				5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。	J	流
			①早位当たりコストは適正である。(5点)	5	 点
			a. 単位当たりコストは過止である。(5点) ②迅速なサービスの提供に努めていますか。	J	
			と)	5	 点
(3)	効率性 (20点)	18	3. 近尾なり一とス提供のための取組を具体的に取り組んといる。(3点) 3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	J	
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			4 100 4 100	J	
			中	3	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	3	
				3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。	J	
	— 13			5	 点
(4)	公平性 (20点)	18		J	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		③適正な受益者負担を求めていますか。 	5	<u></u>
			a. 過止な受益有負担を求めている。又は受益有負担を必要としない理由・根拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。	J	点
			4) 公 十 日 と 曜 床 9 る ため の	F.	
			1事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	5	点
			①	F	<u></u>
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	J	点
	持続可			F	<u></u>
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) 	ð	点
	(20点)			F	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	F	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生活福祉室	事務事業番号	01083	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性	
(3)現状分析	活保護受給世帯は様々な課題を抱え	度を運営するにあたっての最重要課題で えている世帯が多いため、事業効果を得る セプト点検業務は医療扶助の適正化に変	るには根気よく事業継続してい

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

就労支援専門員による就労支援と、子ども健全育成支援員による生活支援については、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の補助対象事業である、生活保護受給者就労支援事業と、生活困窮者子どもの学習支援事業として、実施されます。 平成28年度は医療扶助適正化等事業については補助率上乗せ(3/4→7/8)対象自治体として認められています。

事務事業名					
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸

	1.121 1.26 0																
(1)	事業開始年度	昭和25年度			改正	 15.33	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	\ 4.1. -	∆. . = □								
(2)	直近の改正	平成26年度			内容	駅 天	的自立給付金	を制度の	創設	等							
(3)	根拠法令等	生活保護法															
		□ 全部		一部(上乗せ	、横	:出し等あり)		V	なし	ノ(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施	する義務あ	5 9)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は・	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健原	東で安心	ひして暮	事らせ	せるまちづくり	J			節		5		細節	1	0
					区	分	□ 内部管	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		建	2 设事業	☑ その	他			:	
		対象 (誰を、何を)			範囲	節囲等 生活保護法に基づく要保護世帯											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に															
		結果 (どのような効果	結果 (どのような効果が得られるのか) 自立					します。									
(7)	事業概要 	生活保護法はもに被保護者	こ基づく!	に応じて	て保護3 	金品 [:]	を支給し自立	立に向け	た援 	助を 	行います。 	T	保護者か			1	するとと
(8)	予算コード	会計	1	款	,	3	項	3		目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項					平成2 (2014						7年度 年度)			8年度 年度)
							予算(千	千円)		決算	〔千円〕	予算	(千円)	決算見	込(千円)	予算(千円)
			事業費	(A)			11	,067,248			10,417,211	-	10,589,333		10,553,301	1	0,800,704
		人件費	、件費 ├─────		_	<u>人 </u>	47.98				48.98		48.56		48.56		48.56
		<i>t</i> n		頁(B)			398,234			389,245		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					396,736
	事業費と		事業費()		11,465,482			10,806,456 10,994,907 7,953,348 8,097,568							
(9)	財源の内訳		特定財派	ポ(し) <u></u> 国			8,537,198 8,245,750		+	7,933,346							
		内 		<u></u> 苻			218,535					213,246	<u> </u>				
		訳		<u></u>			72,913				86,023 74,68		74,683		79,830	1	93,750
		'	市負担	(D)			2,928,284			2,853,108 2,8		2,897,339	39 2,868,762				
			地	方債				0			0		0		0)	0
		内	そ(の他				0			0		0		0)	0
		<u> </u>		財源				,928,284	+		2,853,108		2,897,339		2,868,762		2,893,484
			け源計(C	(+D)			11,	,465,482			10,806,456		10,994,907		10,958,875	1	1,197,440
	実施方法		☑ 直接実施 □ 委託又は一部委託				委託先	① ② ③									
(10)	(該当するもの					<u> </u>	主な委託内容	1									
	は全部チェック)	二雄田	カ金∙負担	金			交付先	2									
			"不 名]	_ 114			∼ 1376	3									
		□ その他					内容		<u> </u>								

事業番号 01084

		指標等	指標項目			項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			延被保護世帯数		目標値	(単位:世帯)		51,027.00	51,662.00	52,464.00
		指標 内容			実績値	(単位∶世帯)		51,662.00	52,464.00	
	1					達成度(%)		101.2	101.6	
		目標値	目標値は平成27年	年度実績値とします。	単位当た	総事業費(単位:千円)		209.18	208.88	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		55.23	54.68	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
\smile		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が い	1	活動 内容					目標	被保護者の		を確保し、自立に向
困難な場合	2	成果 内容	生存権の保障を規ます。	定している憲法第25	条に基づき、最	低限度の生活を確保し	達成状況	被保護者の最低限度の生活を確保		を確保しています。
	•	4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	<u> </u>	口易	尧止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価				けたきめ細れ	事業費も増大している かな援助を行うには、 があります。				

所属名	生活福祉室				
事務事業番-	号 01084	事業名	生活保護事業	事業区分	その他

運用	の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ат іш	ロジルボ	一一	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				E	
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<u> </u>
(1)	妥当性 (20点)	18	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
	(==7/11)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		<u> </u>
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u></u>	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	 E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 	<u> </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u>:</u>	
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
()	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	 :	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	·	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	10	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	1.0	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 「点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生活福祉室	事務事業番号 0	1084								
2 各視点	いたの評価の点数で	では表れない事項(必要に)	芯じて記載)								
3 事務事	事業の現状分析										
(1)本事業	美の位置付け	主要な政策課題 としての取組	☑ i	部として重点的な取組		その他					
(2)各視点	いらの評価結果	持	ş続可能性 公平性	妥当性 20 10 5 0 对率性							
(3)現状分	↑析	限られた職員体制の中で、人生活保護制度について組織的 て位置づけられている自立支 底して不正受給を防ぐ等の様	りに被保護世帯のF 援プログラム(生活	自立を支援する制度に転換す ·保護適正実施推進事業にて	るための具 実施)を活用	体的実施手段とし 用し、課税調査を徹					
1 204	4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)										
4 TV/1	ら(Pariniu)到門はC、	コ政争未に関係9の特記	书 ·快 /								

事業番号	01294
------	-------

事務事業名	災害弔慰金の支給、災害障害見舞金の支給及び災害援護資金の貸付							
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸			

		<u> </u>															
(1)	事業開始年度	昭和57年度		5			 D支給	範囲が兄	見弟姉	妹にも		ること(たた	む、配偶さ	者·子·父 /	母∙孫又は	祖父母が有	子在しない
(2)	直近の改正	平成24年度				場合)					-						
(3)	根拠法令等	吹田市災害弔	景慰金の	支給等に	こ関す	る条例											
		□ 全部		一部(」	上乗せ	、横出し	等あり)	V	なし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施	する義務な	あり)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした場	- 易合はそ	一の説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	で安心	して暮	らせるま	きるまちづくり				節		5		細節	(0
		-			区	分	内部	管理		建設	*事業	☑ その	他			<u>. :</u>	
4.5.		対象 (誰を、何を)			範囲	災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令に準拠し、暴風、豪雨等の自然災害により死亡した市民の遺族、精神又は身体に著しい障がいを受けた市民。									より死亡し		
(6)	目的	目標(どういう状態に	したいのた	5v)	_	 災害弔慰金、災害障害見舞金を支給し、遺族の生活の支援を行います。貸付けを行い、市民の福祉及び生活 											
		結果 (どのような効果	結果 どのような効果が得られるのか) 被災した市民の福祉、及び生活の安定を図ります。														
(7)	事業概要	吹田市災害年 暴風、豪雨等 及び自然災害 に対する災害 を行います。 支給額は生計 費用負担 国	の自然災 ミにより精 ・接護資金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	災害によ 情神又は 金の貸付 が死亡!	り死亡 身体に すけ 500万	こした市員 こ著しい 「円、生計	民の遺 障がい 十維持 ⁴	族に対す Vを受けた 者以外が	る災 [:] 市民	害用慰	対金の支約 書障害見象	合、 舞金の支給				受けた世帯	の世帯主
																	i
(8)	H27事業別 予算コード	会計		款] ;	項			目		大事業		中事業		小事業	
(8)		会計	項目			:	項	平成2 (2014		 度		大事業		中事業 ?7年度 5年度)		平成2	8年度 年度)
(8)		会計	項 [項 予算(·	(2014		度 (麦)	千円)			l ?7年度 5年度)	込(千円)	平成2 (2016	
(8)			事業費((A)				(2014 千円) 0	26年 4年度)	度 (麦)	C	予算((2015 千円) 0	7年度 年度) 決算見		平成2 (2016	年度)
(8)			事業費(職員] (A)]数				(2014	26年 4年度)	度 (麦)	0.00	予算((2015	7年度 年度) 決算見	0.0	平成2 (2016 予算((年度) (千円) 0.00
(8)		人件費	事業費(職員総額	(A) 員数 [(B)	人 千I			(2014 千円) 0	26年 4年度)	度 (麦)	0.00	予算())	(2015 千円) 0	7年度 年度) 決算見	0.0	平成2 (2016 予算(0	(年度) (千円) 0.00 0.00
	予算コード	人件費	事業費(職員 総額 事業費(A	(A) 員数 [(B) A+B)	+			(2014 千円) 0	26年 4年度)	度 (麦)	0.00	予算()))	(2015 千円) 0	7年度 年度) 決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0	(年度) (千円) 0.00 0 0
(8)		人件費	事業費(超額)	(A) 員数 i(B) A+B)	+			(2014 千円) 0	26年 4年度)))	度 (麦)	0.00 0.00 0	予算()))	(2015 千円) 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0	(千円) 0 0.00 0 0
	予算コード	人件費給	事業費(職員 総額 事業費(A	(A) 員数 i(B) A+B) i(C)	+			(2014 千円) 0.00 0 0	26年 4年度)))	度 (麦)	0.00	予算()))	(2015 千円) 0 0.00 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0	(年度) (千円) 0.00 0 0
	予算コード	人件費給	事業費(超額事業費(月時)	(A) 員数 [(B) A+B) [(C)	+			(2014 千円) 0.00 0 0	26年 4年度)))	度 (麦)	0.00	予算())))	(2015 千円) 0.00 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0	(年度) (千円) 0.00 0 0 0
	予算コード	人件費給	事業費(総額 事業財源 国 旅	(A) 数 ((B) A+B) ((C) 国	+			(2014 千円) 0.00 0 0	26年 4年度))))	度 (麦)	0.00	予算() () () () ()	(2015 千円) 0.00 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0	新年度) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	予算コード	人件費総等	事業費(編 額	(A) (A) (B) (A+B) (C) 国 (D)	+			(2014 千円) 0.00 0 0 0	26年月 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算() () () () () ()	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0	語年度) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	予算コード	人件費給	事業職の選集を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	(A) (A) (B) (A + C) (B) (D) (D) (D) (D)	+			(2014 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0	26年 4年度)))))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0	を (千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0
	予算コード	人件費 (内訳) (内訳)	事業職総費財産を担めるののでは、	(A) (A) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	+			(2014 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0 0 0	を (千円) (1年度) (
	予算コード	人件費 (内訳) 人件費 (次次) (内訳) (以表)	事業 職 額 (A)	(A) (A) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	+			(2014 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0	を (千円) 0 0,00 0 0 0 0 0 0
	予算コード	人 (内訳) (内記) (日本) (内記)	事業 職 額 (A)	(A) 数 (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	+	円 季	予算(:	(2014 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0 0 0	語年度) 活円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0
	予算コード 事業の内記 方法	人 (内訳) (内記) (日本) (内記)	事 業 は	(A) 数 (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	+	円 季	予算(·	(2014 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0 0 0	語年度) 活円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0
(9)	予算コード 事業費と 財源の内訳	人 (内訳) 件 (内訳) 直 委 財接	事事市が実ス要業ま大の大の要要をりのの	(A) 数 (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	+	Text	予算(:	(2014 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0 0 0	語年度) 活円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0
(9)	予算コード 事源の内記 実施方法 さまずるもの	人 (内訳) 件 (内訳) 直 委 財接	事 業 は	(A) 数 (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	+	Text	予算(:	(2014 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 4年度)))))	度 (麦)	0.00	予算()))))))	(2015 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0	決算見	0.00	平成2 (2016 予算(0 0 0 0 0 0 0 0 0	i年度) (千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0

<u> </u>		/]日1示 -	指標項目	∃		項目		平成26年 (2014年)		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単	· 位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単	益位 :)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
1) 王		の積算 方法			りコスト	一般財源((単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単	益位 :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	益位 :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源((単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単	4位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単	拉位 :)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
\smile		方法			りコスト	一般財源((単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単	益位 :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	Ú位 :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法	タタロー甘べも エ	日財会の主約 伐みはまに		一般財源((単位:千円)	1±	0.00 尼 の垣	0.00	/
の が 困 お	1	活動内容		引慰金の支給、貸付けを行				目標	ます。		
2困難な場合	2	成果内容	条例により书慰金 	金の支給、被災した市民の)福祉及ひ生	福祉及び生活の安定を図ります。			数年第	毛績がないため予算	措置していません。
			今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小			廃止 □	終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	ます。	せんが激	基災害が発	生し、国より)同法の適用	が決	定されれば予算技	昔置を行い施行し

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01294	事業名	災害弔慰金の支給、災害障害見舞金の支給及び災害援護資金の	事業区分	その他

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(4)	妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	ii	
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	·	
			c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。	ii	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	ii	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	······i	
<i>(</i> - <i>)</i>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	ii	
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	ii	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	•	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	4.0	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4)	(20点)	12	③適正な受益者負担を求めていますか。	ii	
			b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	•	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(-)	持続可	40	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	ii	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	ii	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 生活福祉室	事務事業番号 01294		
2 各視点からの評価の	点数では表れない事項(必要に応じて	て記載)	
3 事務事業の現状分析	Í T		
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	妥当性10有効性公平性効率性	
(3)現状分析	ここ数年、災害弔慰金の支給等の	実績はありません。今後、貸付金の回収が	に課題であると考えます。
4 その他(国・府の動向]など、当該事業に関係する特記事項		
	1.66、日以予不に対所が分別の予決		

事業番号 01295

事務事業名	緊急援護資金の貸付事業										
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸						

	中加中未 V/W	<i>1.</i> 4													
(1)	事業開始年度	昭和39年度		改正	甘仝	の増額									
(2)	直近の改正	平成15年度		内容	空 亚	の垣蝕									
(3)	根拠法令等	吹田市緊急援	護資金貸付	基金条例	列										
		☑ 全部	□ 一部	『(上乗せ	と、横出	横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								5 9)	
(4)	市単独事業区分		ックした場合	はその説	.明										
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で多	安心して著			IJ		節	5		細節		10	
		<u> </u>		×	分	□ 内部管理			 建設事業	✓ その	 他				
		対象 (誰を、何を)		範	本市住民で生活保護法による被保護者に準ずる方のうち、一時的な支出増加又は収入の減少により 町囲等 日常の生計を維持することが困難となり、かつ、その生計資金を調達することができない方。										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいのか)	生活	舌資金	、入院費用	用の資金で	上貸付	けて生計維持	を援助しま	す。				
		結果 (どのような効果	結果 「のような効果が得られるのか) 「でな効果が得られるのか」												
(7)	事業概要	病による入院 保証人が必要 基金総額は8	の場合は20 です。緊急 0,000,00)万円を限 爰護資金)0円です	艮度に 貸付基 -。	1万円を単 基金にて運	位としてご営してい	貸付を ます。	行います。な	お、貸付を	受けるため	には償還	能力を有	易合は10万円を、傷 していることと、連帯 ます。	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	ᅧ	次		項		E		大事業		中事業		小事業	
	7 51 7		項目		平成26 (2014 ²							7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)			ž	快算(千円)			決算見	込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)					0		С				C		
		人件費			<u> </u>	0.00		0		0		0.00			
		松 :	──総額 (B) 事業費(A+												
(0)	事業費と		寺定財源(C)								0				
(9)	財源の内訳		国			0		0		-			C	0	
		内					0	0 0					C	0	
		<u> </u>	その他		0				С	0			С	0	
			市負担(D)				0		C)	0		С	0	
		<u> </u>	地方債				0						C		
		訳	その他				0		0		0		0	-	
			一般財源 ———— 源計(C+D				0		0		0		C	+	
		☑ 直接								1				<u> </u>	
							1								
		□ 委託	又は一部委			委託先	2								
	実施方法	口 安癿	人14 叫女	g 6			3								
(10)					主	な委託内容									
	(該当するもの は全部チェック)		A # != ^				1								
		│ □ 補助	金•負担金			交付先	2								
							3								
		□ その	他			内容									

			指標項目	■		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			貸付件数		目標値	(単	4位:件)		0.00	0.00	1.00
		指標 内容			実績値	(単	4位:件)		0.00	1.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値	월	賃値を目標値とします。	単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	()	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>(</u>)	単位:)		0.00	0.00	/
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	<u>(</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値の積算			単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	<u>i</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	実績値 (単位:) 達成度(%)			0.00	0.00	
	2								0.0	0.0	
		目標値の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難な場合(3)指標で示す	① ②	活内 成内	生活資金、入院資	費用の資金を貸付けて <u>4</u>	生計維持を援助	かします。		目標建成	対象者の	生計維持を援助し	ています。
百°9		','				T		17170			
			今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	`		廃止 □	終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	生活保護に準ずる†するも、対象者にと関しては他市と比較果、対象者の妥当性	って次の収入 交しても突出し	までをつっ ているもの	なぐ貸付は生 のではなく、生	活の安 と活困窮	定を図るう 者を支援 ⁻	えで必要と考えまる行政の役割.	ます。貸付金額に

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01295	事業名	緊急援護資金の貸付事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> птр</u>	4 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ит регули	1役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	8	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		, m
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	 点
(2)	有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
					<u></u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) ①単位当たりコストは適正ですか。	5	点
				E	
		16	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		<u></u>
(3)	効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・ は まっま まままない は の 本日 4 3 日 7 4 7 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	14	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	生活福祉室	事務事業番号	01295
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

緊急一時的な資金を貸し付ける本事業は対象者にとって生活の安定を図るうえで重要なものであるため、年度ごとの貸付件数によって事業の効果が低いとは一概に評価はできません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 15 10 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	とから、年度ごとの貸付件数は少なし	入までをつなぐまでの間、生活の安定を いものの本事業の実施意義はあると考え 期間の経過等による適正な債権管理が	ます。今後の大きな課題として

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	

事業番号 01382

事務事業名					
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸

	事務事業の機	元安															
(1)	事業開始年度	昭和42年度 改正															
(2)	直近の改正	平成7年度	式の変更														
(3)	根拠法令等	吹田市災害救	吹田市災害救助資金貸付基金条例														
		☑ 全部		一部(上	乗せ、横	黄出し等あり)		なし	∠(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施	する義務あ	·년)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	クした場	合はその	の説明												
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	で安心し	て暮ら	」 せるまちづく				———— 節		5		細節	0		
(- /		<u> </u>			区分	□ 内部管理			建記		☑ その ⁴	 也			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲等	災害対策	災害対策基本法に規定する災害の被災者										
(6)	目 的	 目標 (どういう状態にし	したいのか	\)	被災者	被災者の生業維持及び家屋補修等に必要な復旧資金を貸付けます。											
		結果 (どのような効果)	が得られる	るのか)	被災者	の生活再建	を援助し	ます。									
(7)	事業概要	本事業は災害救助資金貸付基金にて運営しています。 基金総額は150,000,000円です。 貸付にあたっては災害対策基本法に規定する災害により著しい被害を受け、その生業の維持及び家屋補修等の復旧資金 況にある者に対して、1万円単位で30万円を限度に貸付を行います。なお、貸付を受けるためには償還能力を有している 必要です。															
(8)	H27事業別 予算コード	会計				項					大事業		中事業		小事業		
		-	 項 目	<u> </u>	平成26 ² (2014年					<u> </u>	<u> </u>		7年度 年度)		平成28 ² (2016年		
		~ -							—— 夬算	(千円)	予算(·	 千円)	決算見	 込(千円)	予算(千	-円)	
		-	事業費(A	葉費(A)			()		0		0		0	0 0		
		│ │ 人件費 ├─	職員数		人	0.00)		0.00		0.00		0.00		0.00	
		NII R	総額	(B)	千円		0		0		0		0		0		
	- 		■業費(A			0				0		0			0		
(9)	事業費と 財源の内訳	特 		0			0		+				1				
		内	国 府)		0		0		0		0	
		訳	 その				())	0								
		Ī	 市負担([0			0					0		0	
		~	地方	 ·債			(0		0		0		0	
		内 訳	その	他			()		0		0		0		0	
		Ť	一般則	 財源			()		0		0		0		0	
		財		()		0		0		0		0				
		☑ 直接到	実施 ———					1									
	実施方法	□ 委託又は一部委託				委託先	委託先②③										
(10)						主な委託内											
(10)	(該当するもの は全部チェック)		_	_		_	1										
		□補助st	金•負担金	金		交付先	2										
							3										
		□ その他				内容											

2 評	ЩОЛ	指標等	t 指標項目	1		項目			26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0		0.0	
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標		指標 内容		目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標							単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円) りコスト 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法			りコスト			0.00		0.00	
の3 が3 困指	1	活動内容	災害発生時におり	ナる資金を貸付けます	o			目標	貸付を行ります。	うことによって、被災	者の生活再建を図
盟難な場合	2	成果 内容	被災者の生業維 再建を図ります。	持及び家屋補修等に必	必要な復旧資金	を貸付け、	被災者の生活	達成 状況	近年の貸付実績はありませんが、本事 災害発生時には被災者の生活再建に と考えます。		
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	•	J		終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	当該事業は一般会災者の生活再建に災害時の被災者の課題としては期日	:役立ったことも)生活再建資金	もあり、今 きのため、	後の防災施策 今後も継続す	きの推進 ける必要:	に効果がると考	あると思われます えます。	

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01382	事業名	災害救助資金の貸付け事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> птр</u>		и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/////
			ウ/ロ 30 16 15 15 70 16 15 で 10 で	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	12	3事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
				1	<u></u>
			c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	-	点
		12	①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光は1コストは第五でする (5-5)	E	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	I	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 株中の者な対象は、ているが、異な者以ばの本見から見ても理解が得られる (0.5)		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	14	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(ZO)M()		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	+±		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	[記載]	
災害時の被災者の生活再建資金の	のため、今後も継続する必要があると	と考えます。	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	妥当性 20 15 10 5 0 公平性 効率性	
(3)現状分析	ります。災害発生時に貸付が生じる	研され被災者の生活再建に役立ったこと ため過去10年以上貸付実績がありません 題があり、債権管理が重要な課題となって	ሪ 。
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項))	

事務事業番号

01382

所属名 生活福祉室

事務事業評価調書

事務事業名	生活困窮者自立支援事業								
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸				

1 事務事業の概要

	事務事業の機	发																			
(1)	事業開始年度	平成27年	F 度			 次正	なし														
(2)	直近の改正	なし			ŀ	内容 ———															
(3)	根拠法令等	生活困窮	者自立	支援	法(平成	25年	12,	月13日制	リ定、 ^s	平成2	5年	法律第	₹105 <i></i> ₹	号、 ·	平成27年4	月1日施	i行)				
		□ 全部			一部(_	上乗せ、横出し等あり)			V	なし	(国∙府	存制	度もしくは活	よ令等で	市が実施	する義務	あり)				
(4)	市単独事業区分	一部に	チェック	した均	場合は <i>そ</i>	か説	·説明														
(5)	総合計画の体系	章	3	健康	で安心	して暮	事らせ	さまちづ	くり				節			5		細節		10	
		-				E	分	口 内部	部管理	 B		建設	事業		☑ その他	1			<u>:</u>		
		対象 (誰を、何	「を)			範	囲等	生活困窮者													
(6)	目 的	目標 (どういう状	態にした	こいのか	か)	生活	生活困窮者が自立した生活を送れるよう関連機関と連携し支援します。														
		結果 (どのような効果が得られるのか) 生活困窮状態から脱し、自立した生活を送れるようになります。																			
(7)	事業概要	失った、5 提供しま ⁻ 町村ホー	スは失う す。大阪 ムレス 。本市に	う恐れ 反府下 自立3 は推進	のあるだ におけ を援推進 協議会	方へ- るホ- É協議 :の北:	- 定期 - ムレ 会に ブロッ	月間家賃で スの自立 参加する シク分科会	を支給 正支援 大阪/ ★(1府	します として 府と市 F17市	た。③ は、 i町か i町))一時 これま が共同 に属し	生活支 で「ホ- で、ホ- ていま	援事 ーム ーム	などの必要な 事業:住居の レス自立支 レスに対す。 ブロック分れ	ない生活 援等事業 る「巡回す	5困窮者(美にかかる 相談」及び	こ一定期 る協定書」 バー時生	間宿泊場 に基づき 活支援」	所や食 大阪原 を委託	食事を 府•市 実施し
(8)	H27事業別 予算コード	会計		1	款		3	項		1		目	1		大事業	16	中事業	1	小事	業	1
				項目						平成2 (2014							7年度 5年度)	-		成28年 2016年	
								予算(千円)				決算	千円)		 予算(1	-円)	決算見込(千円)		予	予算(千円)	
				事業費(A)					0				0		11,360		9,33	30		30,511	
		人件費		職員数		,	人	0.00			0.00		0.00		5.00		5.0	00		5.00	
				総額	総額(B) 千円		円			0		0		41,760		40,196	96		40,850		
					A+B)					0	0			0	53,120			49,526			71,361
(9)	事業費と 財源の内訳		特员	定財源 			0			0				0			<u> </u>				17,868
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	´p		<u> </u>							0		0		8,366			5,62			17,868
		訳			守 D他					0	0 0				0			0		0	
			市							0			0		2,994			3,70			53,493
			<u> </u>		 方債					0				0		0		<u> </u>	0		0
		内 訳		その	の他					0				0		16		-	6		65
		<u> </u>		一般	財源					0				0		2,978		3,68	37		53,428
		-	財源	計(C	+D)					0				0		11,360		9,33	30		71,361
			直接実	施						_											
			委託又	は一部	部委託			委託先	;	1 2											
	実施方法						<u> </u>	 Eな委託内	 切突	3	<u> </u>										
(10)	(該当するもの							_′み女売ル	ı T	1	守口	1市(3	《同相』	淡)隼	豊中市(一時	+ 活支	 援)				
	は全部チェック)	☑ ;	補助金	•負担	金					–	1- \ \	_ — I H A	-/ \ _	1 ·1• \ P\							
		☑ 補助金・負担金			文 [交付先		(2)												
								交付先	;	3											

— ні		指標等	指標項目	1		項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			新規相談受付件	数	目標値	重)	単位:件)		0.00	864.00	950.00
		指標 内容			実績値	道)	単位:件)		0.00	570.00	
	1				達成度(%)				0.0	66.0	
		目標値		310万人あたり月20件 22件(H28年度)であり国	単位当た	総事業費	賃(単位:千円)		0.00	16.37	
1 ~		の積算 方法		3.6で求めます。	りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	6.47	
活動指標			就労支援対象者	数	目標値	<u>i</u>)	単位:人)		0.00	259.00	302.00
標		指標 内容			実績値	道)	単位:人)		0.00	57.00	
	2					達成度	(%)		0.0	22.0	
		目標値		10万人あたり、月6件 7件(H28年度)であり、国	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	163.68	
		目標値 の積算 方法	指標×12か月×	3.6で求めます。	りコスト	一般財源	京(単位:千円)		0.00	64.68	
			プラン作成した者	のうち終結した者の割合	目標値	直)	単位:%)		0.00	58.80	58.80
		指標 内容		当		重)	単位:%)		0.00	58.80	
	1					達成度	(%)		0.0	100.0	
		目標値	平成27年度の実 す。	え	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	158.67	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	62.70	
成 果 指 標			就労支援した者の た者の割合	した者のうち就労開始又は増収し 合		重)	単位:%)		0.00	40.00	42.00
標		指標 内容			実績値	道)	単位:%)		0.00	38.50	
	2					達成度	(%)		0.0	96.3	
		目標値 の積算	(H27年度)であ	の就労・増収率が40% り、42%(H28年度)これ	総事業費単位当た		総事業費(単位:千円)		0.00	242.34	
		方法	を適用します。		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		95.77	
の の が 困指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果 内容						達成 状況			
		<u>4</u>	ト 今後の方向性 (実施計画)	3,-,,,	☑ 維約		□縮小				終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	生活困窮者自立支援 るなど、複合的な課題で を行えるように、関係機 することもあるため、プ 活用しながら相談では、一般的 がでは、一般的 るために子どもに対する なお、平成28年度か 生活困窮者一時生活す。	を抱えてきとりませんだけれた。とはまたがやのないではいいいできませんができませんができません。これはいいできません。これはいいできません。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできないできない。これはいいできない。これはいいできない。これはいいできないできない。これはいいできないできない。これはいいできないできない。これはいいできないできないできない。これはいいできないできないできない。これはいいできないできないできないできないできない。これはいいできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	へる傾が相になる。 ないのの はない はない はない はない はい	「あり、これらら となります。こ の連携を進め ついても引きが しることで、 と で、 と で 、 き で 、 き に と で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	の対象をこの対象をいたいできるののできるののできるののできるののできればいまればいまればいまればいまればいまればいまればいまればいまればいまればいま	に対していた。 経す。ませた といい とがいまた。 とがいまたな を を が、 手 を を が、 ませる と で と が、 ませる で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	いかに制度の周知 は困窮を入り口とし 、支援プラン作成 メントを丁寧に行 さということ、貧困 は支援事業を実施 り生活困窮者住居	記を図るか、早期 た包括的な支援 中に支援が終了 い、新たな事業も の連鎖を断ち切 します。 品確保支援事業③

事務事業分析シート

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01428	事業名	生活困窮者自立支援事業	事業区分	その他

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	107]无	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			し、 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)		 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 天心思報はする頃といる。(3点) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			a. 冶動指標で有効指標には、他川との比較も可能な、それでれた例の定量的な指標設定をしている。(3点) ②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	16	a. 事業の自的と受益有は光生に一致している。(5点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。		
	\ = - / /				
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	<u> </u>	
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	<u>5</u>	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて記	記載)	
費用対効果について数値指標等で	で表すことができませんが、生活困窮者	音を支援する福祉施策として継続する必要	見があります。
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 10 5 0 公平性 初率性	
(3)現状分析	平成27年度から生活困窮者自立支持 相談者の傾向を分析し、必要とするま	援法が施行され、生活困窮者に対する新 支援へ繋げたり、新たな支援事業を実施し	たな事業として始まりました。 していくことが必要です。
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業番号

01428

所属名 生活福祉室

事務事業評価調書

事務事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業								
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸				

1 事務事業の概要

	于初于未U/W	ル 文												
(1)	事業開始年度	平成27年度		改正										
(2)	直近の改正			内容										
(3)	根拠法令等													
		☑ 全部	□ 一部	 『(上乗せ	 、横出し等あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェックした場合はそ			明									
(5)	総合計画の体系	章(健康で安	そ心して着		IJ		節	5		細節		10	
				区	分 ☑ 内部	管理	□ 建	設事業	□ その他	j	<u> </u>	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)		範囲	王等 生活保護	生活保護システム								
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	こしたいのか)	生活	 生活保護システムを社会保障・税番号制度の情報連携に対応させるように整備します。									
		 結果	果が得られるの	生 注										
(7)	H27事業別	社会保障•税 会計	: 1	入に伴う生	E活保護システ.	ムの改修:	を行いま	च	大事業		中事業		小事業	
(0)	予算コード	五司	ग	× .	均				八爭未					
			項目				6年度 年度)			平成2 (2015			平成28年度 (2016年度)	
					予算(千円)	決算	(千円)	予算(千	一円)	決算見込(千	円)	予算(千円)	
			事業費(A)			0		0		6,221	4	,924	1,728	
		人件費 人件費	職員数)		0.00		0.00		0.01		0.01	0.01	
		NII A	総額(B)	千	円	C		0	84	81	81	82		
		総	事業費(A+I	3)		0		0	' 		5	5,005		
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源(C)				0		3,529		3,125	1,152		
	X1777, 021 1LIX	内	国 ————————————————————————————————————			0	0 0		3,529	3	3,125	1,152		
		訳	<u>府</u> その他			0					0	0		
			市負担(D)			0		0	2,692			,799	576	
			地方債			0		0		0	·	0	0	
		内 訳	その他			0		0		0		0	0	
			 一般財源	Į		0		0		2,692	1	,799	576	
		Į Į	 才源計(C+D)		0		0		6,221	4	,924	1,728	
		□ 直接	美実施									•		
						1	北日本	コンピューター	サービス株式	大会社				
		┃	・ とこれ とう とうしょう とうしゅ しゅう こうしん しゅう しゅう とうしん という しゅう とうしん しゅう しん しゅう	託 託	委託先	2								
	 実施方法					3								
(10)					主な委託内									
	(該当するもの は全部チェック)		LA 215 ^			1								
		┃ □ 補助 ┃	金•負担金		交付先	2								
						3								
		□ その	他		内容									

事業番号 01499

2 評価の指標等

		指標等	指標項目	1		項目		6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u> </u>		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	実績値 (単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指 標						(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容 ———			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
の の3 が 困指	1	活動 内容	生活保護システム します。 	△を社会保障・税番号制。	度の情報連携	に対応させるように整備			ンステムを社会保障・税番号制度の 対応させ適正に稼働させます。	
	2	成果 内容	生活保護システムさせることができる		度の情報連携	に対応させ、適正に稼働	達成状況		システムの社会保障 句けたテスト及び整	₫•税番号制度の情 備を実施します。
	•		う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	□縮!	<u> \ </u>	v J	廃止 □	<u>終期の設定</u>
(4)総	合評	価	評価の説明			人 ・ の継続が必要です。	報連携に	対応させ	 るために、生活保	護システムのテ

事務事業分析シート

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01499	事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業	事業区分	その他

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та	107]兀灬	四丁 四 流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				2	
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	.	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 - ************************************		
(1)	妥当性 (20点)	16	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(== 71117)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	-	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	•	<u> </u>
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性 (20点)	16	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点) 	3	点
	(20無)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		14	①単位当たりコストは適正ですか。	:	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3)			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	·	
	効率性 (20点)		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	:	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	·····	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
	公平性 (20点)		②サービスの水準は適正ですか。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
(4)		0	内部管理		点
(4)			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(-)	持続可	4.0	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	1	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	:	
\ 100	示测讯/		(1914日/エチが)の以上は27日間ボルでなってのパロルボジロ目では20(4)数ボジー列目で//		

所属名	生活福祉室	事務事業番号	01499	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	生活保護システムを社会保障・税番りスト及び整備が必要であり、事業の組	号制度における情報連携に対応させるた ≚続が必要です。	めに、生活保護システムのテ

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成28年度及び平成29年度に団体内連携テスト及び他の情報保有機関との連携テストを実施し、平成29年7月を目途に、他の情報保有機 関との連携がスタートします。

事業番号 01500

事務事業評価調書

事務事業名	生活保護システム事業						
担当部名	福祉部	室課名	生活福祉室	室課長名	中村 安伸		

1 事務事業の概要

	1-101-1-010															
(1)	事業開始年度	平成27年度		改正												
(2)	直近の改正			内容												
(3)	根拠法令等															
		☑ 全部	□一部	 『(上乗せ	∵、横∤	出し等あり	1)		なし	√(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	 する義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分		ックした場合(まその説	明											
(5)	総合計画の体系	章	3 健康で安	で心して着	事らせ	るまちづく	(1)			————— 節		5		細節	10	
		<u> </u>		X	分	☑ 内部	管理		建i		□ その	他				
		対象 (誰を、何を)		範圍	囲等	生活保護	生活保護システム、レセプト管理システムの改修、保守等に係る経費									
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	こしたいのか)	生活	5保護	養システム	、レセブ	゚゚ト管理	シス [・]	テムの保守	<u></u> 管理します	0				
		 結果	果が得られるの	か)生活	5保護	美システム	、レセブ	か 管理	シス・	テムを適正し	に稼働させ	ることがで	きます。			
(7)	事業概要 H27事業別	生活保護システム、レセプト管理システムを円滑に稼動させ、その機能を保持するために必要な保守作業および法改正等正等を行います。						によるプログラム修								
(8)	予算コード	会計	示	欠		項			<u>目</u>		大事業		中事業		<u> </u>	
							成26年 014年度				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)			決算	(千円)	予算(千円)	決算見記	入(千円)	予算(千円)			
			事業費(A)					0		0		26,388		24,161	2,184	
		人件費	版員数 人件费		人		0.	.00		0.00		0.01		0.01	0.01	
			総額(B)	ļ	円			0		0		84		81	82	
	+ * # 1		事業費(A+E					0		0		26,472		24,242		
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)						0		0		0		0		
		内	 ————— 府					0		0		0				
		訳				0		0		0		0		0		
			市負担(D)			0		0	0			26,388	3 24,161		2,184	
		$\widehat{}$	地方債			0		0		0		0		0	(
		内 訳 	その他					0		0	0			0	(
		<u> </u>	一般財源	Į				0	0		26,388			24,161	2,184	
		·	才源計(C+D)				0		0		26,388		24,161	2,184	
		□直接	爱 ————————————————————————————————————		<u> </u>			<u> </u>	¬ - 	->.l- ²	лт 13. 2	/ 				
						委託先	<u> </u>	_		コンピュータ Cフ・アイ・ピ		(1本)				
		☑ 委訊	E又は一部委託	託		女。しん	_	<u>2</u> = - 3	L /III -		(1117)					
	実施方法				—— 主	 な委託内		<u>゜</u> /ステム	.保守	 ·業務						
(10)	(該ヨ9句もの							1								
	は全部チェック)	□ 補助	金•負担金			交付先	_	2								
							(3								
		□ その他				内容										

2 評	<u>ш 0,</u>	指標等	指標項目	■		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	1					達成度(%)	0.	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	2					達成度(%)	0.	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	1					達成度(%)	0.	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	2					達成度(%)	0.	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
の の が また	1	活動内容	生活保護システム	ム、レセプト管理システム	の保守管理し	ます。		護システム、レセプト管 させます。	理システムを適正
困難な場合	2	成果 内容	生活保護システム保護制度を円滑し	ム、レセプト管理システム こ実施します。	ℷを適正に稼働	させることにより、生活		護システム、レセプト管 させ、生活保護制度を	
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮り		廃止	終期の設定
(4)総1	(4)総合評価		評価の説明		、であり、法改	 に基づく生活保護費の 正に対応した改修や			

事務事業分析シート

所属名	生活福祉室				
事務事業番号	01500	事業名	生活保護システム事業	事業区分	その他

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>піш</u>		рт ішілік	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投引力担の観点がら足し、中の属子のあり力は廻りですが。 	5	 点
			a. 川が関子すべて事業であり、その範囲も担い子も最適である。(3点) ②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	示
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3	从
			○社会状況の変化で時間の性過に伴い、事業の失態思報が得化でいると70%。 	5	
				<u> </u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		- M
			c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	
(2)	有効性 (20点)	16	3事業は目標どおりに進捗していますか。	3	从
				5	
			a. 日標を工画る文は日標とおりの足形状況である。(5点) 	<u> </u>	
			4) 氏に説明できる共体的な成果を上げていますが。 	5	
				5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3)			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	0	
	効率性 (20点)	12	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 - 他の事業・取組との連携は検討していない。(15)		.
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)		点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	0	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			内部管理		点
	公平性 (20点)		②サービスの水準は適正ですか。 - *** ********************************		
(4)		0	内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。 	<u> </u>	
			内部管理 ・		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	<u> </u>	
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ / + 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	······	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 生活福祉室	事務事業番号 01500							
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	子続可能性 対称可能性 を視点からの評価結果 公平性 効率性							
(3)現状分析	生活保護システムは生活保護法に基めに必須のシステムであり、法改正しあることから事業の継続が必要です。	基づく生活保護費の支給管理等、生活保 に対応した改修やシステム障害時に適切 。	護制度を円滑に実施させるた かつ迅速な対応を行う必要が					
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								